

【一般会計決算状況】

区分	令和2年度	令和元年度	差引額	増減率
歳入（収入）総額	95 億 1,296 万円	70 億 616 万円	25 億 680 万円	35.8%
歳出（支出）総額	91 億 7,040 万円	67 億 7,473 万円	23 億 9,567 万円	35.4%
歳入歳出差引額 ①	3 億 4,256 万円	2 億 3,143 万円	1 億 1,113 万円	48.0%
翌年度への繰越財源 ②	1 億 1,474 万円	1 億 2,490 万円	▲1,016 万円	▲8.1%
実質収支 ①－②	2 億 2,782 万円	1 億 653 万円	1 億 2,129 万円	113.9%

【特別会計決算状況】一般会計とは別に、独立して経理を行う会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	17 億 7,543 万円	17 億 5,846 万円	1,697 万円
学校給食特別会計	5,751 万円	5,748 万円	3 万円
農業集落排水事業特別会計	3,266 万円	3,266 万円	0 万円
介護保険特別会計	16 億 4,057 万円	16 億 2,529 万円	1,528 万円
後期高齢者医療特別会計	2 億 3,948 万円	2 億 3,564 万円	384 万円
水道事業会計	1 億 8,719 万円	1 億 5,884 万円	2,835 万円
病院事業特別会計	18 億 2,189 万円	17 億 5,803 万円	6,386 万円

（水道事業会計・病院事業特別会計は収益的収支を記載）

◆ 健全な財政状況 ◆

実質収支は黒字であり、健全化判断比率は全ての指標が健全化への取り組みが必要な基準（早期健全化基準、経営健全化基準）を大幅に下回っているため、健全な財政状況を維持しているといえます。実質公債費率は、この比率が高いと町財政に対する借金の負担が多いということになります。10年間で15.8%から3.5%へと大きく改善しています。今後も、道の駅整備や高知県管理型産業廃棄物最終処分場建設に伴う地域振興策等に係る事業の財源として町債を借り入れる予定ですが、町債の償還金の一部を地方交付税として国から交付される有利なものの活用などで、一時的に償還額が増加するものの今後の償還金が町の財政に大きく影響を与えることはないと思込んでいます。

また、基金は財政運営を計画的に行ったり、特定の目的のために積立や取崩を行ったりするもので、家計における貯金に当たります。令和2年度は元年度に比べ約2億円増加しています。健全な財政運営を行っていくため、今後も適正な基金の額を維持していくことが求められます。

【基金（貯金）残高】

会計名	令和2年度	令和元年度	差引額	増減率
一般会計	47 億 5,005 万円	45 億 4,206 万円	2 億 799 万円	4.6%
（うち ふるさと納税寄附金基金）	2 億 5,937 万円	2 億 1,321 万円	4,616 万円	21.7%
国民健康保険特別会計	6,951 万円	6,664 万円	287 万円	4.3%
農業集落排水事業特別会計	5,746 万円	5,791 万円	▲45 万円	▲0.8%
介護保険特別会計	2 億 5,519 万円	1 億 8,597 万円	6,922 万円	37.2%

※引き上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費については、佐川町役場ホームページにて公表しています。

令和2年度
決算
報告

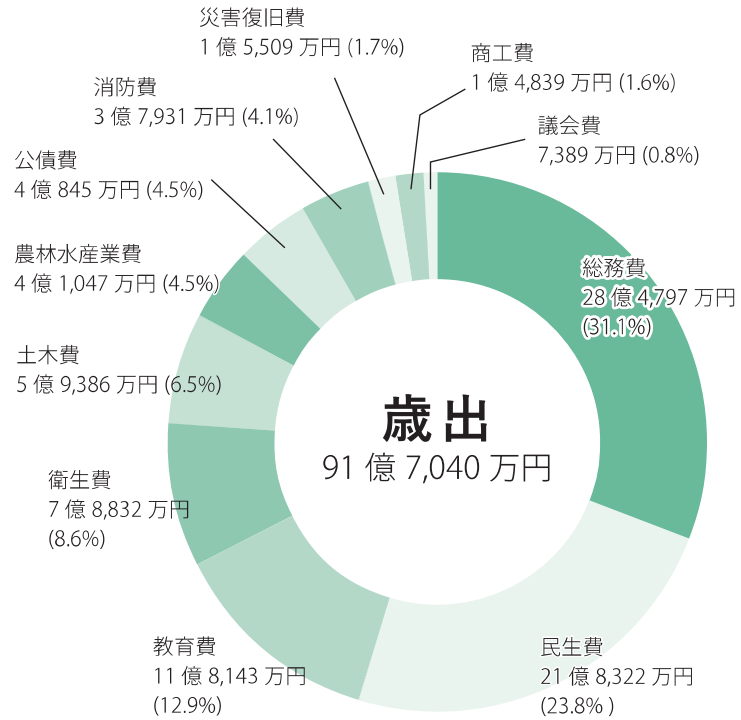
新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けた令和2年度は、地域経済や住民生活への緊急的支援を行うとともに、“第5次総合計画にもとづくまちづくり（アクションプラン）が5年目を迎える中、これまでの5年間の総括を行い、次の5年間につなげる実効性のある計画に改善し、世界一幸せなまちを「まじめに、おもしろく。」みんなで創る。”を佐川町経営方針に掲げ、財政運営を行いました。

＼ 歳入のポイント ／

特別定額給付金給付事業補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等により国庫支出金が大幅に増え、また、役場庁舎や総合文化センターの非構造部材等の耐震事業等の財源とするため町債が増加しました。ふるさと寄附は令和元年度より約6千70万円増加しています。

用語の解説

- ・地方交付税…財政力に応じた国の交付金
- ・国庫支出金…国からの交付金・補助金
- ・町税…町民税・固定資産税
- ・町債…長期借入金
- ・県支出金…県からの交付金・補助金
- ・繰入金…特別会計繰入金・基金繰入金
- ・使用料・手数料…住宅使用料・施設使用料
- ・分担金・負担金…保育所負担金・工事負担金
- ・その他…地方譲与税・諸収入等



用語の解説

- ・総務費…財産管理・選挙
- ・民生費…高齢者福祉・保育所
- ・教育費…小中学校・文化施設
- ・衛生費…予防接種・ごみ処理
- ・土木費…道路・住宅の維持改良
- ・農林水産業費…農林業振興・施設整備
- ・公債費…借入金の返済
- ・消防費…防災対策・消防活動
- ・災害復旧費…農林・公共施設災害
- ・商工費…観光・商工振興
- ・議会費…議員報酬・議会運営

＼ 歳出のポイント ／

特別定額給付金事業や役場庁舎非構造部材等耐震改修事業、また、ふるさと寄附のお礼品にかかる費用やふるさと納税寄附金基金積立金の増加等により総務費が大幅に増加し、総合文化センターの非構造部材等耐震化及び大規模改修事業により教育費が増加しました。

令和2年度の 主な事業

佐川町役場庁舎非構造部材等耐震改修事業

2億4,205万円

令和2・3年度事業として、災害時には被災者の方の救助や支援、災害復旧等を担う防災拠点となる役場庁舎の改修を行っています。内外壁、天井、建具、窓ガラス、床材等の非構造部材の耐震化、給排水管の耐震化、高圧受電設備の更新、72時間電力供給が可能な自家発電設備の設置等を行い、ライフラインの途絶時においても、発災直後から安全かつ継続的に使用可能となる庁舎づくりを進めています。

佐川町総合文化センター非構造部材等の耐震化及び大規模改修事業

3億4,884万円

拠点避難所である総合文化センターの避難所機能の維持向上のため、また、文化・スポーツなどの活動拠点でもある同施設の長寿命化を図るため、大規模改修を実施しました。非構造部材の耐震化、空調設備の更新、LED化、トイレの洋式化・増設等を行ったことで、快適に利用していただけるようになりました。

上町地区周辺整備事業

7,122万円

上町地区の一層の魅力向上による誘客促進や情報発信の充実を図るために、休憩スペースや観光案内機能を合わせ持つロ481号客車展示施設(うえまち駅)を整備しました。風情ある酒蔵の通りに調和した建物で、明治時代に製作された貴重な客車内に入り見学もでき、新たな観光スポットとして多くの観光客を迎え入れています。



広報さかわ R3.10 6

まちまると植物園事業

1,256万円

牧野公園の整備を進めるとともに、植物を通じて人々がつながりあう“植物のまち”を目指した取り組みを行っており、“まちまると植物園”のホームページ・イメージ動画を作成し、『植物のまちさかわ』の魅力・情報発信を強化しました。お家の庭、お店の軒先や地域の花壇など、「育てるを楽しむ」場所に設置したロゴプレートは104枚(R3.3末現在)となり、町内の至るところで見かけるようになりました。



ふるさと教育推進事業

9,386万円

ふるさとを愛する子どもたちを育てていきたいという思いをこめて、オリジナル教材「SAKA・WA-KU」、「S AKA・WA-KUデジタル」、「SAKA・WA-KU+」を開発・作成しました。町立図書館において冊子版の閲覧ができ、町立小中学校では、これらの教材を活用し、佐川町の歴史や文化、偉人、産業など幅広い分野で、過去から現在、これからの未来を考える授業を展開していきます。また、不登校の改善や学力向上に重点的に取り組むため学習支援員等の適切な人員配置を行い、AI型学習支援教材による学びの個別最適化の試行など学校教育の改善を図る取組を行っています。

あったかふれあいセンター事業

4,597万円

誰もが気軽に集い必要なサービスを受けることができる地域福祉の拠点として、町内5カ所(尾川、斗賀野、黒岩、加茂、佐川)で地域のニーズ把握や課題に取り組む活動を行っています。新型コロナウイルス感染症の影響により一時閉所、事業縮小を余儀なくされたため、利用者数は減少しましたが、個別訪問や生活支援件数は大幅に増加しました。コロナ禍にあって、センターの地域の見守りや支え合い機能の必要性を再認識し、今後も地域福祉活動を推進していきます。

◆新型コロナウイルス感染症に対応した取り組み

コロナ禍の影響を受けている地域経済や住民生活を支援するため、特別定額給付金の支給をはじめ、学校や拠点避難所、町立高北病院等へ感染防止対策を講じるほか、地方創生臨時交付金等の国庫支出金を活用し、様々な事業を行いました。

チーム佐川支えあい事業

3,000万円

佐川町社会福祉協議会が行う「コロナに負けん！チーム佐川支えあい基金事業」の原資の一部として補助金を交付。所得が減少した事業者及び世帯に対して支援を行うもので、町民の皆様からも広く寄付を募り、町民みんなで支え助け合う制度として、令和2年度は基金事業合計3,425万円の給付金を支給しました。令和3年度もコロナ禍の影響が続いているため、継続して支援を行っています。

地域経済活性化応援事業

2,888万円

コロナ禍の影響を受けた町内事業者への支援策と合わせた消費喚起を目的に、プレミアム付商品券事業と商店街スタンプラリー事業(さかわスタンプまつり)を実施しました。

子育て世帯臨時特別給付金(町独自分)

1,444万円

コロナ禍で学校が休校になる等家計への負担が増している子育て世帯について、国が行う臨時特別給付金1万円に上乗せして更に1万円を支給し、経済的支援を行いました。

◆ふるさと寄附(納税)についてのご報告

ふるさと寄附は、故郷や応援したい自治体に寄附できる制度です。佐川町でも、この制度により、寄附者の拡大、リピーターの確保、返礼品の充実を図り、町のPRや自主財源確保につなげています。令和2年度も多くの佐川町ファンの方に応援していただき、寄附受入額は前年度比34%増となりました。全国の方の目に触れる機会が増加し、町のPRを図ることができました。

令和2年度の寄附金総額
2億3,759万1,048円

令和2年度の寄附金件数
1万469件

令和2年度にふるさと寄付金を活用した事業

教育・文化・スポーツの振興に関する事業

5,928万円

学力向上、不登校対策を実施するための人員配置／さかわ未来学構想構築にかかる人材育成、組織力の向上に向けた研修／ICT活用授業プログラム開発研究業務委託／スポーツパークさかわ整備に要する備品購入

産業・観光の振興に関する事業

1,826万円

ロ481号客車展示施設(うえまち駅)新設工事／佐川町道の駅基本計画アドバイザー業務委託／体験型観光「わんさかわっしょい体験博」の開催／さかわ発明ラボ活動運営費



交通安全・防犯・防災・減災の推進に関する事業

183万円

児童・生徒の通学路を見守り用カメラの設置

“まちまると植物園”への活用

植物学者・牧野富太郎博士のふるさと佐川町で、町民が行っている植物に関わる活動を町全体で植物園に見立てて、植物を通じて人々がつながりあう“植物のまち”を目指した取り組みを進めています。“植物のまち”として、さらに取り組みを展開していくために、寄附金のうち100円を牧野富太郎博士に関する事業に活用させていただいています。

令和2年度人気のお礼品
申込件数ランキング

第1位



麦藁焼
特選鯉のたたき

第2位



天然酵母
ベーグルセット

第3位



旬の季節の
お野菜定期便

第4位



フルーツトマト

第5位



さかわの地乳